

アーツカウンシルさいたま 2024年度政策提言（概要）

さいたま市では、トリエンナーレや国際芸術祭を過去3回実施し、現在活動している表現者への支援や、文化活動が教育や福祉、街づくり、観光等多様な分野と連携していくこともイメージしながら、アーツカウンシルさいたまが設置されました。

アーツカウンシルさいたまとして、これらの現場での取り組みから得られた知見をさいたま市にフィードバックすることで、政策と施策の循環を生み、より住みやすく暮らしやすい市の実現に寄与するため、2025年3月にさいたま市へ政策提言を行いました。

提言概要

- 提言1 国際芸術祭を市のイメージ戦略や子どもたちの学びの機会として活用
～日常的な教育普及にも活用できるシンボリックな拠点が望まれる
- 提言2 多様な行政部局、団体と連動した施策を実施する
- 提言3 小さな文化拠点や人の多様性を文化政策のキーワードに
- 提言4 盆栽・漫画・人形・鉄道に加え、浦和画家を都市の文化的イメージに活用
～シビックプライドの醸成を意識して
- 提言5 実施体制の改革が望まれる（文化振興事業団改革）